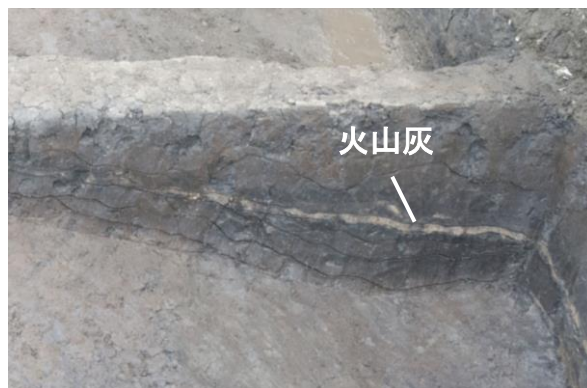


深谷城の堀跡が検出されました！（ふかやじょうせきだい深谷城跡第2ちょうさ1次調査）

令和4年6月29日（水）～8月8日（月）までの間、深谷城跡第2 1次発掘調査を行いました。



A区全景



第1号堀跡 土層堆積状態

深谷城跡は、JR深谷駅から北へ600mほどの位置に所在する遺跡です。深谷上杉氏の居城とされており、過去の調査では堀や土塁、掘立柱建物跡などが確認されています。

今回は、A区とB区の2か所を調査をしました。その結果、堀跡2条、溝跡2基、土坑5基、ピット7基が検出されました。

A区では、堀跡が東西方向に延びており、堆積土層内から明黄色の土層が確認されました。これは、天明3年（1783年）に起きた浅間山の噴火によって堆積した火山灰と見られ、第1号堀跡の掘削時期を考える上で非常に重要です。

また、B区では南北方向に延びる堀跡が検出されました。今回はこの堀跡を部分的に掘削し、その立ち上がりの形状や土の堆積状況を確認しました。その堆積層内には、火山灰は見られないことから、A区の堀とは埋没時期が異なると考えられます。



B区全景



第2号堀跡 土層堆積状態